

令和 8 年度 技術・家庭科 技術分野 第1学年

育成する資質・能力

- (1) 生活や社会で利用されている材料, 加工, 生物育成, エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに, それらに係る技能を身に付け, 技術と生活や社会, 環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 製作図等に表現し, 試作等を通じて具体化し, 実践を評価・改善するなど, 課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学期	学 習 到 達 目 標
1 学 期	<p>ガイダンス「技術について考えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活や社会を支える技術について、技術の見方・考え方から関心をもつことができる。 ・生活や社会を支える技術について考える。 ・技術の発展と生活・産業、環境について考える。 ・日本の伝統技術を知る。 ・技術を通して未来の社会について考える。 <p>生物育成の技術「二十日大根を栽培しよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の生育について理解することができる。 ・生物育成に関する技術と社会や環境とのかかわりについて考えることができる。 ・作物の栽培技術について理解する。 ・栽培方法を知る。 ・栽培に適した条件を知る。 ・土壌の特質を知る。 ・肥料の特徴を知る。 ・栽培実習に取り組む(種まき、育苗、かん水、間引き、追肥、管理、収穫まで経験する)。 ・病害虫の知識を学び、対策ができるようになる。 ・社会や環境とのかかわりについて知る。 ・生物育成の技術とわたしたちの未来について考える。
2 学 期	<p>材料と加工の技術「身のまわりを整理できるものをつくろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の種類と特徴について知る。 ・木材の性質と種類について知る。 ・材料と環境とのかかわりについて知る。 ・じょうぶな構造について考える。 ・製作に必要な図をかくことができる。(等角図、第三角法等) ・製作に必要な図をかくことができる。(等角図、第三角法等) ・製図記号を理解できる。 ・図面を読むことができる。 ・製作に必要な「けがき」をすることができる。 ・けがきにそって切断を行う。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・切削を行う。 ・下穴あけを行う。 ・くぎ接合を行う。 ・組立の検査と修正を行う。 ・表面と角の仕上げを行う。 ・塗装を行う。 ・完成した実習課題の評価を行う。